

2024環境経営レポート



日本鉄塔工業株式会社

運用期間

2024年4月～2025年3月

2025年7月1日作成

～目次～

環境経営方針

1. 事業の概要

2. 実施体制

3-1. 当年度及び中期環境経営目標（全社）

3-2. 当年度及び中期環境経営目標（本社・営業所）

4. 当年度の環境経営計画

5-1. 目標の実績（全社）

5-2. 目標の実績（本社・営業所）

6. 活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

8. 代表者による全体評価と見直しの指示

9. 環境改善への取り組み



～環境経営方針～

○基本理念

日本鉄塔工業株式会社は、鉄塔、橋梁あるいは各種鋼構造物の設計、製作、防食施工を通じてお客様に「技術」と「信頼」を提供する上で、循環型社会の一員として地域社会との関わりを重要視し、環境に配慮した企業活動を積極展開します。また、常に環境への負荷の低減を意識し、従業員全員で継続的な改善活動を行います。

○行動指針

1. 企業活動のあらゆるプロセスにおいて、環境負荷を評価して環境保全に努める。
2. 省エネルギー、省資源、リサイクル、水使用量及び廃棄物削減に努め、環境負荷の低減を図る。
3. 化学物質の適正管理を実施する。
4. 環境マネジメントシステムを構築して、環境負荷の継続的改善を図る。
5. 環境関連法規制等を遵守するとともに、地域社会への影響を配慮して共生を図る。
6. 環境教育を通じて環境保全意識を高める。
7. 本方針を全従業員に周知徹底し、一般にも公開する。



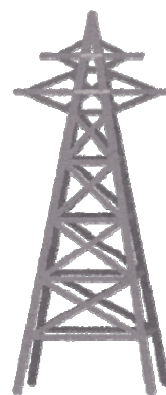
改定 2020年 9月 1日

制定 2011年 10月 12日

日本鉄塔工業株式会社

取締役専務経営役員 平山 裕一

1. 事業の概要

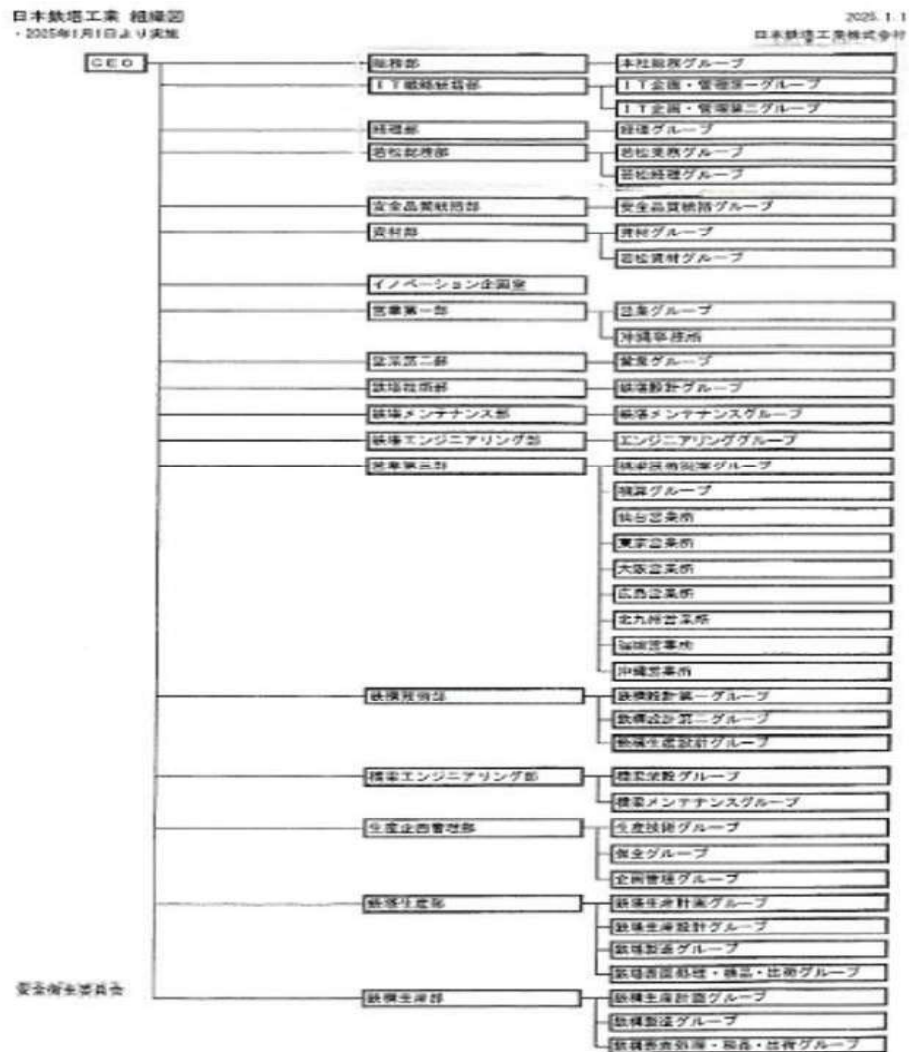


- (1) 事業所名 日本鉄塔工業株式会社
- 連絡先 TEL (093) 751-2715
FAX (093) 751-5339
- (2) 代表者名 取締役専務経営役員 平山 裕一
- (3) 環境管理責任者 取締役経営役員CKO 磯部 文孝
- (4) 環境管理担当者 若松業務部 若松総務人事Gr リーダー 磯野 敏秀
- (5) 対象事業所
- | | |
|--------|-------------------------------|
| 本社 | 東京都江東区新砂 1-6-27 新砂プラザ |
| 若松工場 | 北九州市若松区北浜1-7-1 |
| 鉄構センター | 北九州市若松区響町1-103-1 |
| 安瀬工場 | 北九州市若松区大字安瀬52-1 |
| 仙台営業所 | 宮城県仙台市青葉区一番町1-4-30さのやビル |
| 大阪営業所 | 大阪市北区豊崎3-9-7いずみビル |
| 広島営業所 | 広島市中区大手町3-8-4大手町佐野ビル |
| 福岡営業所 | 福岡市中央区春吉 1-7-11
スペースキューブビル |
| 沖縄営業所 | 沖縄県那覇市前島2-16-16
フォレスト 101 |
| 沖縄事務所 | 沖縄県浦添市仲西3-5-15 |
- (6) 事業の内容 鉄塔、橋梁、鉄骨、景観製品などの鋼構造物の設計
製作、防食加工
- (7) 事業の規模 製品出荷額 105億円 製品生産高 9千ton

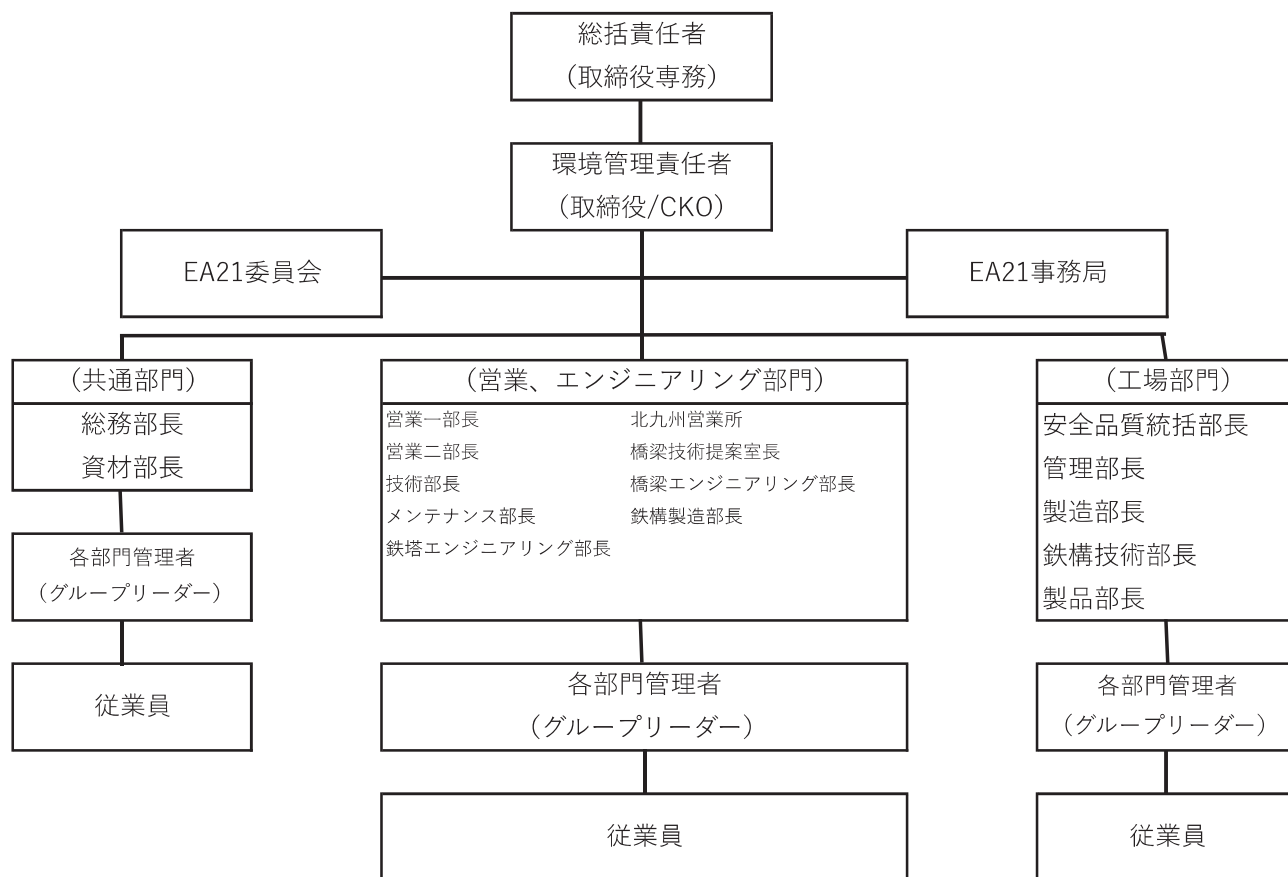
(8) 従業員・営業所の敷地面積

項目	従業員	敷地面積	延床面積
若松事業所	217名	48,295㎡	32,234㎡
鉄構センター	12名	109,625㎡	14,218㎡
安瀬工場	1名	7,486㎡	4,081㎡
本社	60名	—	717.24㎡
仙台営業所	4名	—	79.20㎡
大阪営業所	4名	—	66.00㎡
広島営業所	3名	—	39.60㎡
福岡営業所	20名	—	127.34㎡
沖縄営業所	1名	—	57.24㎡
沖縄事務所	1名	—	46.8㎡
合計	323名	165,406㎡	51,666.42㎡

(9) 組織図及び認証・登録範囲



2. 実施体制



役割分担表

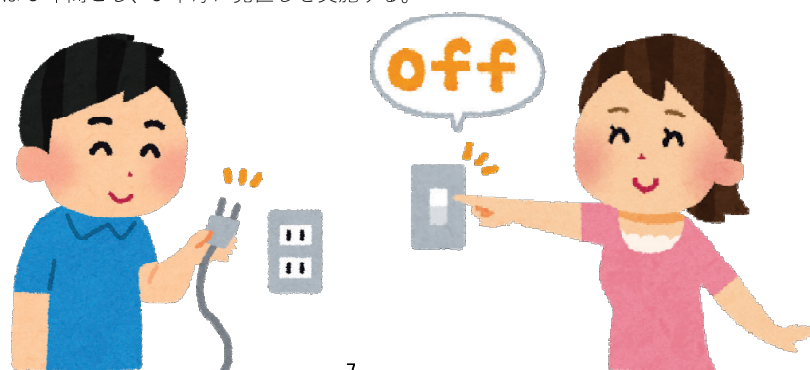
所属（役職）	役割・責任・権限・使命
総括責任者	- 環境方針の決定並びに見直し - 環境経営システムの構築、見直し指示 - 環境目標と環境活動計画の承認 - 環境への取組を実施するための資源の準備 - 全体の評価と見直し
環境管理責任者	- 環境目標と環境活動計画の計画立案 - 環境教育・訓練の計画
EA21委員会	四半期毎に開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
事務局	- EA21文書及び記録類の作成、維持、管理 - 環境関連法規等の把握と管理
各部門管理者	- 環境活動計画の推進 - 環境関連法規等の遵守管理 - 運用管理、監視、測定、記録の管理
全従業員	- 部門管理者の指示及び自主的に環境活動計画の推進 - 運用管理、監視、測定、記録

3-1.当年度及び中期環境目標(全社)

項 目	単位	2023年度 基準年度	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
二酸化炭素総排出量の削減	Kg-CO ₂ /t	387.128	383.218	379.307	375.513
電力使用量の削減	kWh/ t	378.427	374.604	370.782	367.074
都市ガス使用量削減	Nm ³ /めっき重量	72.445	71.713	70.981	70.271
LPG使用量削減	Kg/ t	2.765	2.737	2.709	2.681
ガソリン使用量の削減	L	8,853	8,764	8,674	8,587
軽油使用量の削減	L	16,841	16,671	16,501	16,335
一般廃棄物の削減	t	223.77	221.51	219.25	217.05
一般廃棄物リサイクル率の向上	%	6.43%	6.37%	6.30%	6.23%
産業廃棄物の削減	t	911.23	902.02	892.82	883.89
産業廃棄物リサイクル率の向上	%	97.41%	96.43%	95.44%	94.48%
水使用量の削減	m ³	14,178	14,035	13,891	13,752
化学物質の適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
環境配慮型工事の実施	—	実施	実施	実施	実施

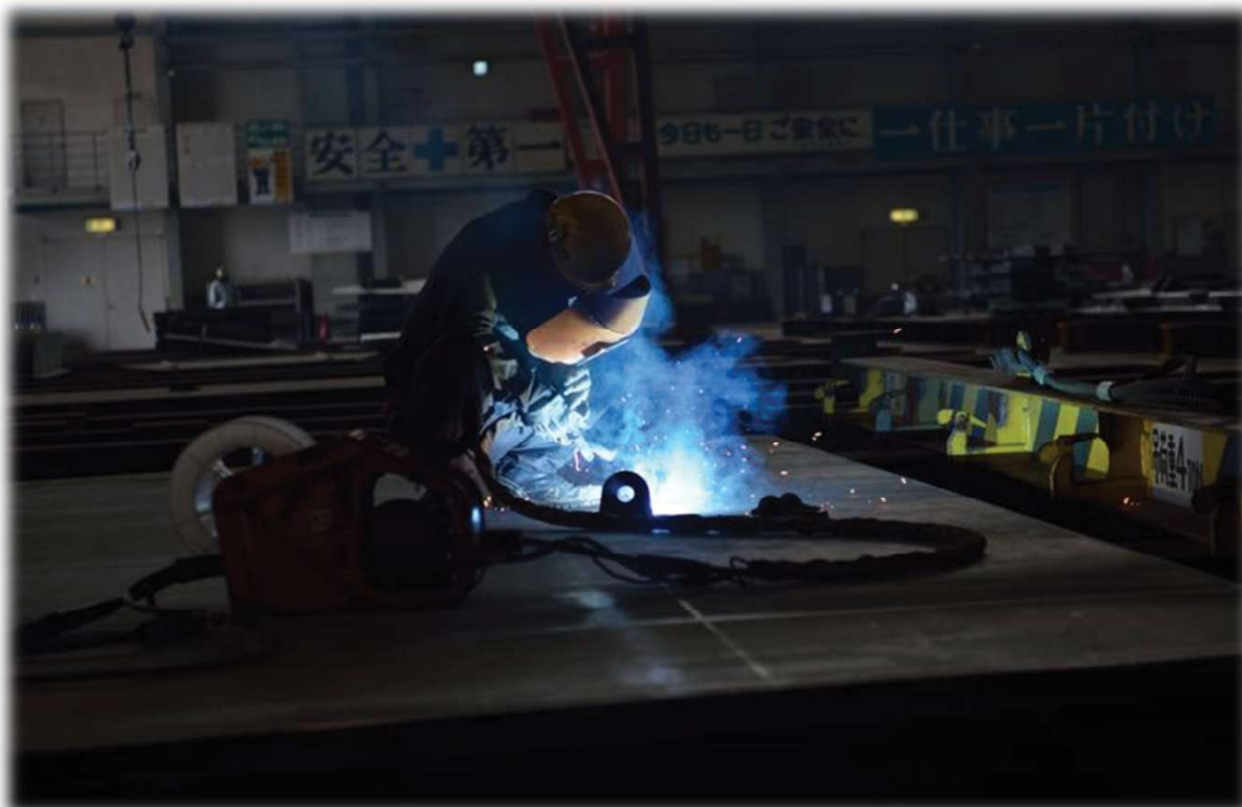
※ 電力の二酸化炭素実排出係数は、2023 年度の九州電力値 0.402Kg-CO₂/kWh を使用した。

※ 中期環境目標は3年間とし、3年毎に見直しを実施する。



3-2.当年度及び中期環境目標(全社)

項 目		単位	2023年度 基準年度	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
電力使用量の削減	本社	kWh	57,429	57,429	57,429	57,429
	若松事業所	kWh	3,018,983	3,018,983	3,018,983	3,018,983
	仙台営業所	kWh	5,897	5,897	5,897	5,897
	大阪営業所	kWh	3,795	3,795	3,795	3,795
	広島営業所	kWh	8,415	8,415	8,415	8,415
	福岡営業所	kWh	15,859	15,859	15,859	15,859
	沖縄営業所	kWh	2,769	2,769	2,769	2,769
	沖縄事務所	kWh	1,112	1,112	1,112	1,112
都市ガス使用量	大阪営業所	m ³	1,274	1,274	1,274	1,274



4.当年度の環境活動計画

No.	目標課題	具体的な活動	対象部門
1 二酸化炭素排出量の削減	1-1 電力使用量の削減	空調の適温化（冷房28度、暖房20度）	全部門
		昼休みの消灯	全部門
		残業時の不要な照明の消灯	全部門
		パソコン、コピー機の省電力設定	全部門
		照明の昼間、外光で足りる場合は消灯	全部門
		エアー漏れの撲滅	製造部門
		機械、溶接機の昼休み、休止時の主電源切	製造部門
		工場照明のLED化	管理部
	1-2 都市ガス使用量の削減	ストーブの昼休み、不必要時の停止	製造部門
		給湯の夏場使用停止	全部門
		めっき使用量の把握と管理	製造部門
	1-3 LPG使用量の削減	ストーブの昼休み、不必要時の停止	製造部門
		給湯の夏場使用停止	全部門
	1-4 ガソリン使用量の削減	エコドライブの励行	全部門
		車両の適正整備	全部門
	1-5 軽油使用量の削減	エコドライブの励行	製造部門
		車両の適正整備	製造部門
2 廃棄物の削減	2-1 一般廃棄物の削減	両面、集約等の機能を活用したコピーを徹底	全部門
		裏紙等を有効活用	全部門
	2-2 一般廃棄物のリサイクル率の向上	分別の徹底	全部門
		紙のリサイクル徹底	全部門
		再利用、再生利用の検討	全部門
	2-3 産業廃棄物の削減	産廃の削減検討	製造部門
		分別の徹底	製造部門
	2-4 産業廃棄物のリサイクル率の向上	分別の徹底	全部門
		再利用、再生利用の検討	全部門
3	水使用量の削減	節水活動の推進	全部門
		漏水確認	全部門
4	化学物質の適正管理	適正管理	製造部門
5	環境配慮型工事の実施	環境配慮型の技術などの提案を実施	工事部門

5-1.目標の実績(全社)

項 目		単位	2023年度 (基準年度)	2024年度		
				目標	実績	達成%
	二酸化炭素 総排出量の削減	Kg-CO2/ t (Kg-CO2)	350.123 (3,189,274)	383.218	352.436 (3,261,443)	109%
	電力使用量の削減 電力使用量	kWh/ t (kWh)	356.760 (3,249,726)	374.604	354.901 (3,284,252)	106%
	都市ガス使用量削減 都市ガス使用量	m ³ /めっき t (Nm3)	73.829 (439,945)	71.713	69.976 (449,596)	102%
	LPG使用量削減 LPG使用量	Kg/ t (Kg)	3.940 (35,887)	2.737	4.618 (42,738)	59%
	ガソリン使用量の削減	L	10,166	8,764	11,715	75%
	軽油使用量の削減	L	20,384	16,671	22,136	75%
一般廃棄物の削減		t	225.56	221.51	226.831	98%
一般廃棄物リサイクル率の向上		%	4.19%	6.37%	4.70%	74%
産業廃棄物の削減		t	992.48	902.02	883.56	102%
産業廃棄物リサイクル率の向上		%	96.43%	96.43%	97.45%	101%
水使用量の削減		m ³	18,177	14,035	18,529	76%
化学物質の適正管理		—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
環境配慮型工事の実施			実施	実施	実施	実施

電力の二酸化炭素実排出係数は、2023 年度の九州電力値 0.402Kg-CO2/kWh を使用した。

5-2.目標の実績(全社)

項 目		単位	2023年度 (基準年度)	2024年度		
				目標	実績	達成%
電力使用量	本社	kwh	57,429	57,429	55,779	103%
	若松事業所	kwh	3,018,983	3,018,983	3,190,890	95%
	仙台営業所	kwh	5,897	5,897	8,678	68%
	大阪営業所	kwh	3,795	3,795	4,951	77%
	広島営業所	kwh	8,415	8,415	6,203	136%
	福岡営業所	kwh	15,859	15,859	13,949	114%
	沖縄営業所	kwh	2,769	2,769	2,401	115%
	沖縄事務所	kwh	1,112	1,112	1,401	79%
都市ガス使用量	大阪営業所	m ³	1,274	1,274	1,595	80%



6. 活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

No.	項目	達成状況	結果と評価及び次年度の取組内容
	二酸化炭素排出量の削減	109%で達成	・工場照明のLED化や、工場のコンプレッサー更新により目標を達成することができた。 ・引き続き工場照明のLED化に取り組む。
1-1	電力使用量の削減	106%で達成	・工場照明のLED化や、工場のコンプレッサー更新により目標を達成することができた。 ・引き続き工場照明のLED化に取り組む。
1-2	都市ガス使用量の削減	102%で達成	・めっき重量の増加等の要因により目標を達成することができた。次年度も引き続き都市ガス使用量の推移を注視していく。
1-3	LPG使用量の削減	59%で未達	・LPG使用量を注視したが、目標未達となった。次年度も引き続き使用量の推移を注視していく。
1-4	ガソリン使用量の削減	75%で未達	・社用車の台数増加のため目標未達となった。 ・台数増加に応じて目標を見直すことを検討する。
1-5	軽油使用量の削減	75%で未達	・バッテリー式フォークリフトの導入等により軽油使用量の削減に取り組んだが目標未達となった。
2-1	一般廃棄物の削減	98%で未達	・一部会議資料のペーパーレス化等の取り組みにより、紙使用量の削減と一般廃棄物削減に繋がったが、目標未達となった。引き続きペーパーレス化の取り組みを推進していく。
2-2	一般廃棄物のリサイクル率の向上	74%で未達	・古紙は原則リサイクルするという意識を持たせることに努めたが目標未達となった。改めてリサイクル率向上の啓蒙活動の取り組み等を行う。
2-3	産業廃棄物の削減	102%で達成	・まだ使えるものを最後まで使い切る意識を植え付けたこと等が奏功し、目標を達成することができた。 ・引き続き再めっきの削減に努める。
2-4	産業廃棄物のリサイクル率の向上	101%で達成	・産業廃棄物のリサイクル率向上の目標は達成できた。現状で満足せず、引き続きリサイクルの徹底に取り組む。
3	水使用量の削減	76%で未達	・水使用量の削減に取り組んだが、目標未達となった。引き続き取り組みを行う
4	化学物質の適正管理	100%で達成	・搬入、使用、廃棄の各段階で適正に管理できた。 ・次年度も適正管理を行う。
5	環境配慮型工事の実施	実施	・超低騒音型で排出ガス規制に対応した発電機や溶接機を使用し、環境に配慮した工事を実施している。 ・次年度も引き続き環境配慮型工事の実施に取り組む。

7.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規等は以下の通りです。

『関連する環境関連法規』

- | | |
|----------------------|--------------|
| ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | ・ 下水道法 |
| ・ 水質汚濁防止法 | ・ 浄化槽法 |
| ・ 大気汚染防止法 | ・ 騒音規制法 |
| ・ 振動規制法 | ・ 北九州市公害防止条例 |
| ・ 化学物質排出把握 | ・ 消防法 |
| ・ 高圧ガス保安法 | ・ 工場立地法 |
| ・ 公害健康被害の補償等に関する法律 | ・ 土壌汚染防止法 |
| ・ 悪臭防止法 | ・ 毒物、劇物取締法 |
| ・ エネルギーの使用の合理化に関する法律 | ・ フロン排出抑制法 |

それらの順守状況をチェックした結果、環境関連法規についての違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

8.代表者による全体評価と見直しの指示

環境負荷低減が要求される社会環境の中、2011年 11 月より環境経営システムに取り組むために、エコアクション21の活動を開始しました。

2024年度は 12年目の年間を通しての活動となり、環境活動に対する意識も確実に根付いてきています。2025年度も適正な目標値を設定し、環境活動計画に基づいて活動を進めるとともに、従業員一人一人の環境活動への取組意識を高め、自主的に活動ができるように進めていきたいと考えています。

9.環境改善への取り組み

★北九州市『環境にやさしい事業所』選定

これまでの環境に対する取り組みが評価され、若松工場が、工場所在地の福岡県北九州市の平成29年度「環境にやさしい事業所」に選定され、北九州市長より感謝状を頂きました。



★消防操法大会参加



★美化活動



原則、毎月初日と中旬の2回、社員による工場周辺の清掃活動を実施しています。



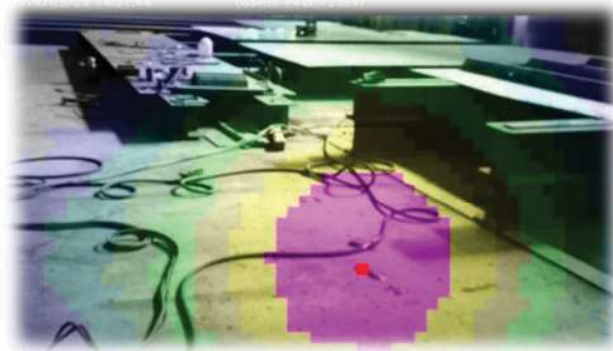
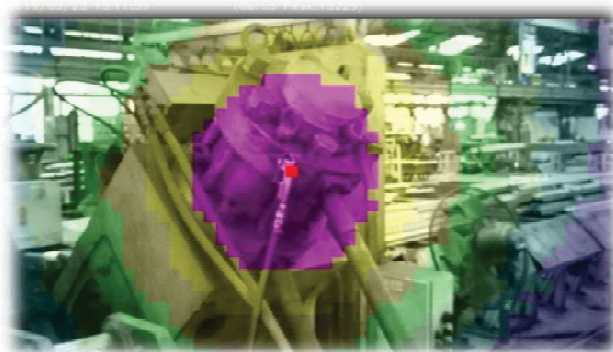
★ボランティア清掃活動

北九州市が開催するボランティア清掃活動に毎年参加しています。



★エアリークの改善

エアリーク箇所の発見にエアリークビューアーを使用。エアリークの改善に効果を発揮している。



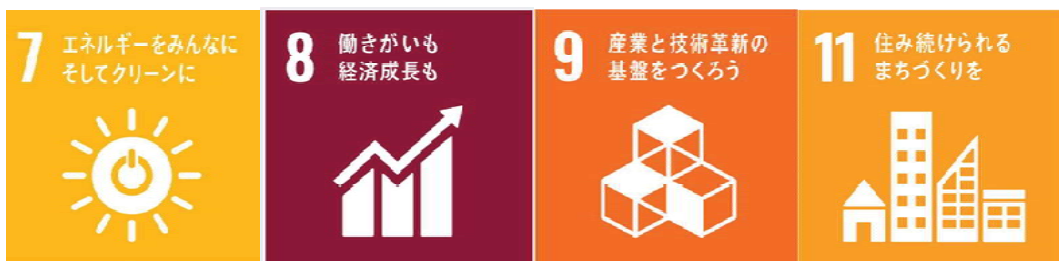
★省エネ型コンプレッサーへの更新



若松工場のコンプレッサーを省エネタイプに更新。
従来のコンプレッサー比で最大 64%の省エネを実現。

★SDGsの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



●若松工場近隣の環境美化活動

●エコアクション21の取り組み

●ゆめみらいワークへの参加や学生インターンシップの受入